

前立腺永久挿入密封小線源治療を受けられる患者さんへ

※この治療では個室入院していただきます

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/		/		/		
経過	入院日	治療前日	治療前	治療後	治療後1日目	退院日	治療後2日目
目標	治療の準備を整えることができる。		疼痛がコントロールできている。 血尿の増悪がなく、尿の流出が順調である。		尿道カテーテルが抜去でき、抜去後には自尿が確認できる。		退院後の注意点を知っている。
処置	治療部位の除毛を行います。		治療室に行く前に、時計・入れ歯・コンタクトレンズなど身につけているものは全てはずします。 弾性ストッキングをはきます。	酸素吸入をします。 適宜体温、脈拍、血圧を測ります。 心電図モニターを装着します。			
点滴			10時頃から点滴を始めます。		夕方まで点滴があります。		
お薬	普段飲んでいる薬を確認します。お薬とお薬手帳を持参のうえ、看護師にお渡しください。 抗凝固剤の内服は中止のままです。翌朝に飲むお薬は確認しお知らせします。 21時に下剤を内服します。		指示のあったお薬だけ内服してください。		抗血栓薬・抗凝固薬以外の持参薬は朝から内服を再開してください。 尿道の腫れを予防するため内服薬を開始します。		朝から抗生剤の内服薬を開始します。 抗血栓薬・抗凝固薬を服用している方は、 月 日から再開して下さい。
検査					血液検査 X線撮影（1階B1画像診断センター） ※放射線技師が室内の脱落線源の有無を測定します。		
食事	特に制限はありません。医師の指示があった場合には治療食になります。 21時以降は何も食べないでください。		10時以降は何も食べたり飲んだりしないでください。 		帰室後3時間から水分がとれるようになります。  		朝から食事が食べられます。  
安静度	制限はありません。				治療終了後、翌日の朝までベッド上で安静に過ごします。 多少の寝返りは可能です。 		朝から歩行できます。 室内の脱落線源がないと判断されたら、病室外へ出られます。
排泄			10時頃浣腸をします。確認をしますので排便後は流さずにナースコールでお知らせください。 		尿の管が入り、自然に尿が排出されます。 排便の際は看護師にお知らせください。		朝、尿の管を抜きます。管を抜いた後は袋に尿をためて下さい。詳細は看護師が説明します。 万が一、線源が排泄された際は看護師にお知らせ下さい。
清潔	除毛後シャワーに入ってください。 				点滴終了後からシャワーを浴びることができます。		
説明指導	入院生活、治療の流れについて説明します。今回の入院までの経過などもうかがいます。 放射線科医師より治療後の注意点や線源カードの説明があるので、ご家族の方は治療翌日の（ / ）の16時までに来院して下さい。		治療は午後からとなります。連絡が入次第、看護師と一緒に1階の治療室へ行きます。 貴重品は家族の方に渡してください。		痛みがある時は痛み止めを使うことができます。遠慮なく看護師にお伝えください。 何かあったらすぐにナースコールを押してくださいね。 		退院の手続きの書類と診察券をお渡しし、退院の手続きについて説明します。 次回外来日について説明します。 
その他			当日の面会制限はありませんが、面会の際は、病室への入退室記録の記載が必要となります。（看護師が説明します） 治療中、ご家族の方は病室かデイルームでお待ち下さい。		放射線科医よりパンフレット「放射線治療を受けられた方へ」と線源カード、脱落線源容器をお渡しします。 放射線科医から退院後の生活について説明がありますので、ご家族が来院されましたら看護師へ声をかけて下さい。 ※ご家族のサインが必要になる書類の手続きがあります。		



術後にお渡ししたパンフレットをご参照ください。
退院後は小線源療法治療者カードを常に携帯しましょう。